

70周年特別委員会担当副理事長方針

小栗康太郎

このまちで若き青年たちが結集し、「明るい豊かな社会」の実現を目指し運動を起し続けてきた中津川青年会議所は、多くの市民や各団体の皆様にご協力をいただきながら、今年で70周年を迎えます。この10年、まちや社会を取り巻く環境が大きく変化する中でも、中津川青年会議所が様々な社会課題に対して運動を起し続けていくことができたのは、中津川青年会議所の歴史の中で、このまちをより良くしたいという想いを受け継いできたからだと考えます。だからこそ、これまで青年会議所の礎を作ってこられた先輩諸兄姉や、活動を支えていただいた皆様に感謝をお伝えするとともに、未来への想いを新たにし、今後の青年会議所活動へとその想いを繋げていくことが重要です。そうすることで、今後も一層、まちや仲間の発展を願いながら、まちをより良くするために運動を続けていくことができると考えます。

青年会議所はまちの未来を思い描き、その実現に向けて行動する団体です。だからこそ、私たちの持つ先輩諸兄姉や関係する皆様への感謝の念は、未来を担っていく子どもたちの為の行動に変えることが重要です。近年、インターネット等を通じた疑似的・間接的な体験が可能になった反面、人や物事に直接触れる体験が減少し、物事に対する視野が狭まっています。だからこそ、子どもたちが世界を舞台に活躍する人の価値観に実際に触れることで、広い世界に興味・関心を広げ、将来に想像を膨らませ、今以上に大きな夢を思い描くきっかけとする必要があります。そうすることで、理想をもって、未来に向けて諦めず行動していきける人財へ成長できると考えます。

この度、10年に一度の大きな事業をお預かりするにあたり、私は副理事長として、進捗管理を徹底すると共に、メンバーが各々の持ち味を活かし、全員が協力して活動できるよう声掛けや目配りを行う中で、これまでの青年会議所活動で学び得た経験をメンバーに伝え、仲間と力を合わせ目標に向けて共に行動する楽しさを感じていただけるよう行動してまいります。

<70周年特別委員会>

周年事業はメンバー全員が一丸となって取り組まなければ成功はありません。先輩方が築き上げてきた中津川青年会議所の歴史に改めて敬意を持ち、次代へと繋いでいく強い意志を持って、70周年を記念する各事業に対して、メンバー一人ひとりが自身の役目を考え、自分事と捉えて率先して行動していただきたい。